



R6.11.29

校長 村上 道子

11月も、子どもたちが実際に体験したり本物を見聞きしたりして学ぶ学習の場がたくさんありました。

1・2年生 見学遠足 (11/22)

亀岡駅から電車に乗って波方駅まで行き、波方分署や波方図書館を見学させていただきました。普段、電車を利用する経験が少ない児童にとっては、電車に乗ることも良い経験です。また、子どもたちは、本物の消防車や救急車を見て、いろいろな装置が備わっていることに驚き、波方図書館では、本を借りる人のための気配りや工夫がたくさんあることに気付きました。



消防車の中ってすごい!

図書館には、本を読みたくなるような工夫がいっぱい

今治ふるさと魅力体験プログラム (11/22)

普段見ている煙突から出ている炎の正体を教えてもらいました。

太陽石油株式会社



里山スタジアム

サッカーの試合だけでなく、365日だれでも来て楽しんでもほしい、という思いが込められ、施設の中にはいろいろな工夫がありました。

大学の人たちの話がたくさん聞けました。シロクマやオオカミの毛皮がふわふわでした。

岡山理科大学



今治市内の公立小中学校では、ふるさと教育・郷土愛を醸成する「郷育(きょういく)」に力を入れています。それは、今治市(産学官)とも連携をとりながら、今治が好きな児童、ひいては生涯にわたって今治をリードしてってくれる人材の育成を目指すものです。その取組の一つとして、市内の6年生を対象に、今治が誇る名所の見学や体験を実施する「今治ふるさと体験プログラム」を行っています。本校では、11月22日に実施され、太陽石油株式会社、里山スタジアム、岡山理科大学に行ってきました。このような経験を通して、未来を創る今治っ子に成長してくれることを期待します。

3・4年生 福祉体験学習 (11/20, 11/25)

3・4年生の総合的な学習の時間は、①様々な立場の人が、支え合い助け合いながら生活していることに気付く、②相手の立場に立って行動することの大切さを知り、自分たちにできることを実践しようとする、これらのことをねらいとして、「福祉」をテーマに学習しています。子どもたちは、実際にやってみて体感したり、当事者から話を伺ったりすることで、「自分だったら」という思いを持ち、それが実践意欲へとつながっているようです。



高齢者は、目が見えにくかったり、物がつかみにくかったりします。どんな感じのかな?

乗っている人の気持ちを想像して補助をします。

聞こえなくても、手話や身振りなど伝える方法はいろいろあります。大切なのは、伝えようという気持ちです。